

2019年度学生総合調査集計結果(概要版)

I. 調査概要

調査時期：2020年1月

調査対象者：通学課程1～4年生

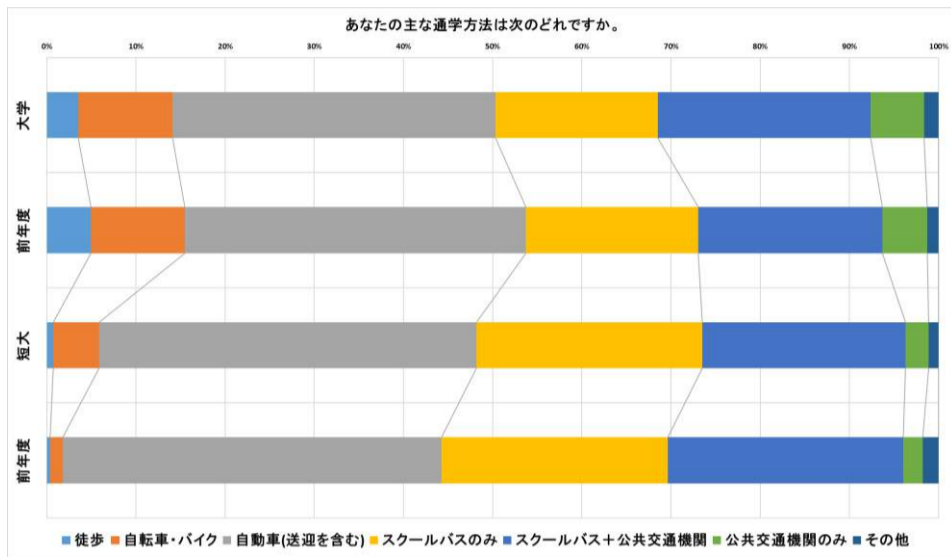
調査方法：WEB・質問紙

回答者数：1,519名(回答率：86.8%)

II. 集計結果(主要な項目を抜粋)

1. 主な通学方法

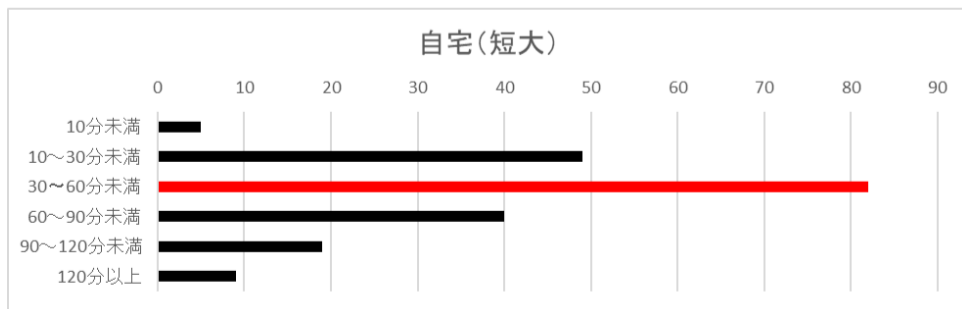
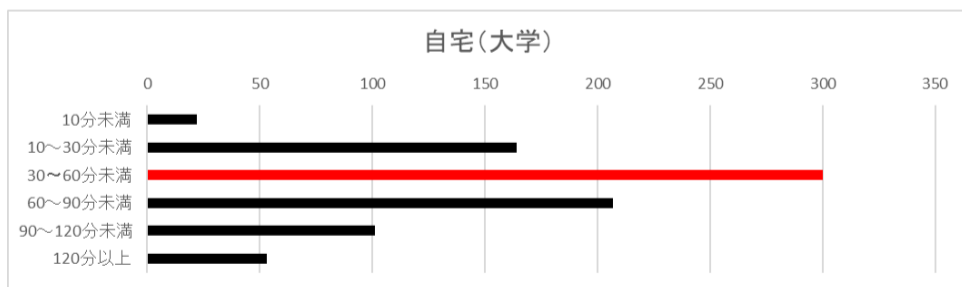
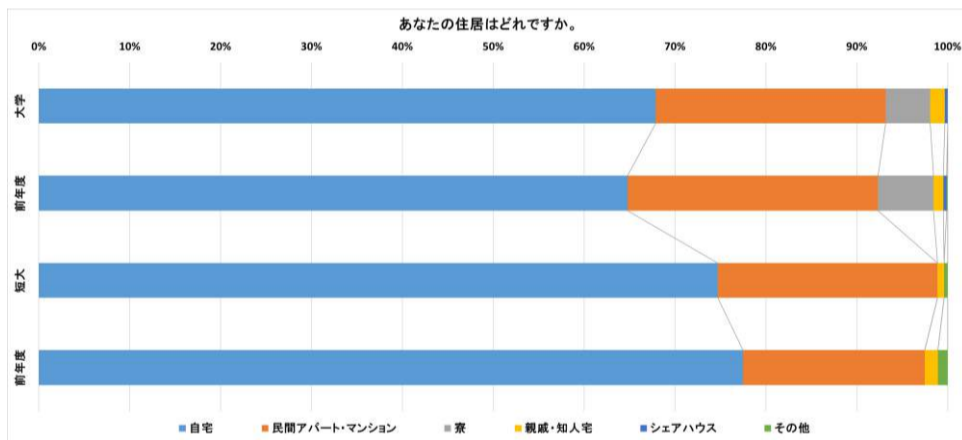
通学方法は、スクールバス利用約4割、自家用車利用約4割となっている。



2. 住居

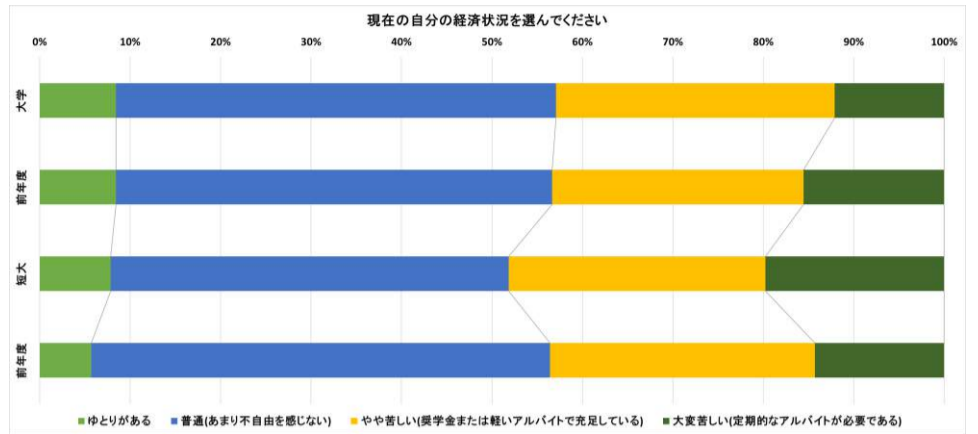
住居は、自宅通学が7~8割を占めている。*前年度もほぼ同様。

住居別の通学時間の傾向は、「30~60分」と回答した学生が最も多い。



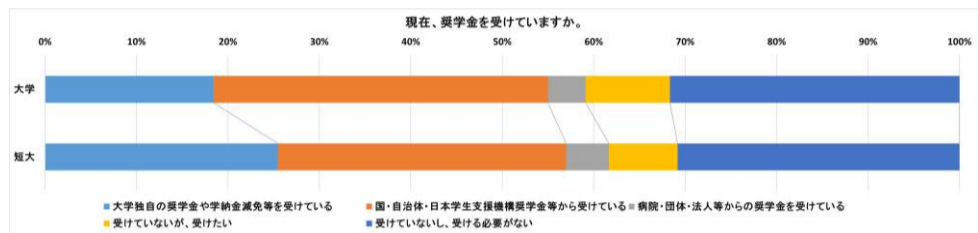
3. 経済状況

4~5割の学生が経済的に「やや苦しい」、「大変苦しい」と回答している。

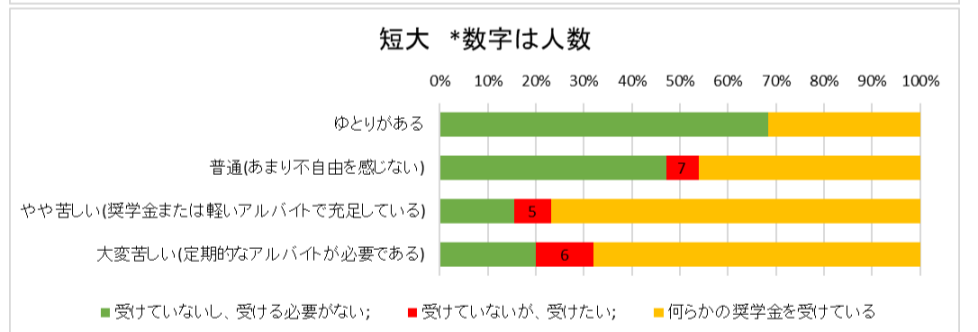
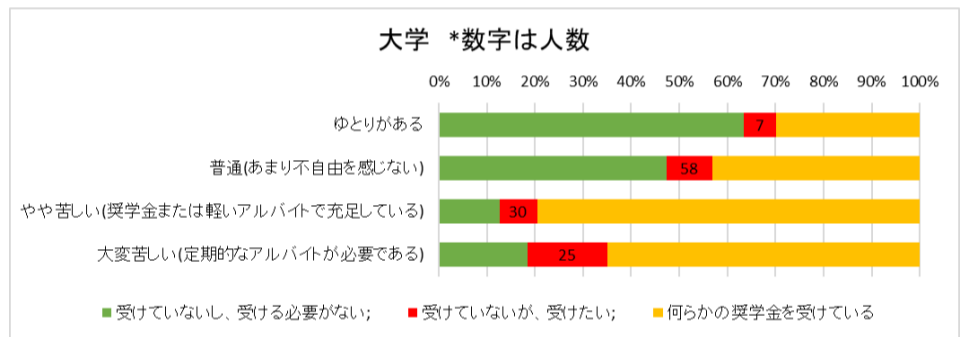


4. 奨学金受給状況

5~6割の学生が何らかの形で奨学金を受給している。また、経済的に「やや苦しい」、「大変苦しい」と回答した学生の大半が何らかの奨学金を受給している。一方で、経済的に苦しいが、奨学金受給に至っていない学生も存在する。

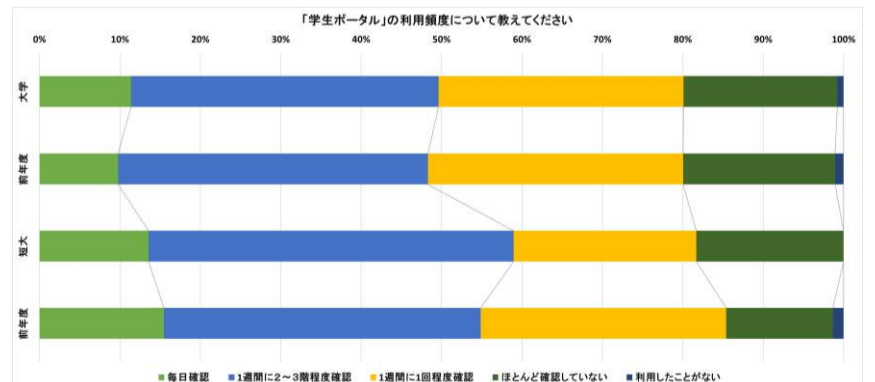


※経済状況×奨学金の受給状況



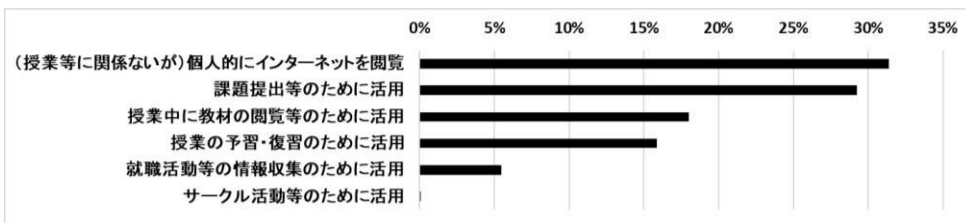
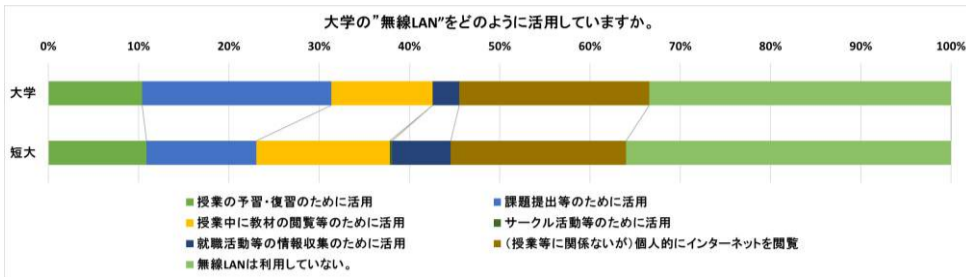
5. 学生ポータル利用頻度

約8割の学生は、学生ポータルを1週間に1回以上確認している。



6. 無線LANの利用状況

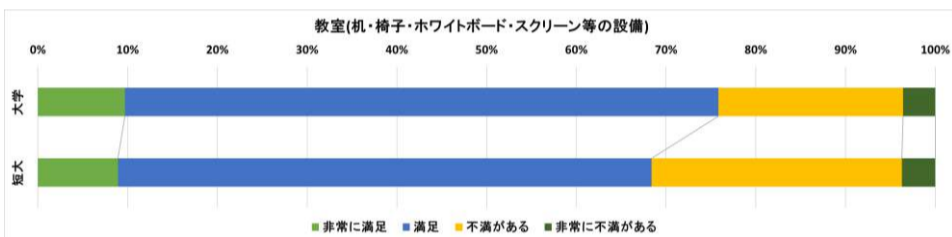
約6～7割の学生が大学の無線LANを活用している。また、無線LANを活用していると回答した学生について、その用途は、個人的なインターネット閲覧を除くと、「課題提出のために活用」が最も多く約3割となっている。



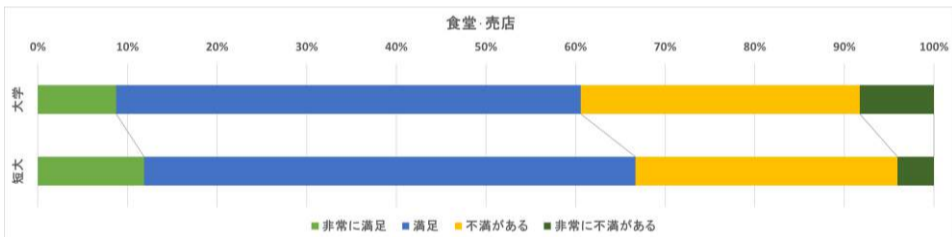
7. 大学の環境・設備についての満足度

大学の環境・設備についての満足度は、「非常に満足」「満足」との回答割合は、教室：約7割、食堂・売店：約6～7割、図書館：約9割、PC教室・ラーニングcommons：約8～9割となっている。

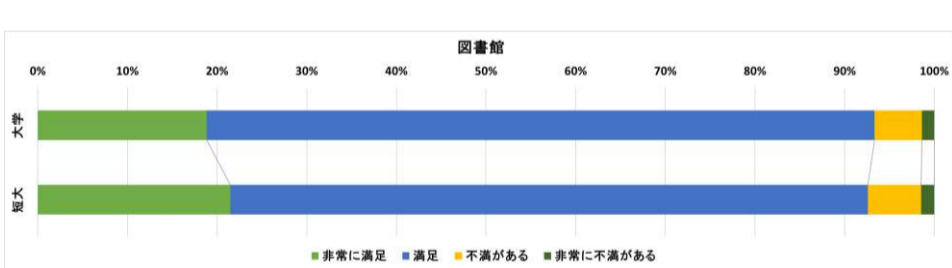
【1】教室(机・椅子・ホワイトボード・スクリーン等の設備)



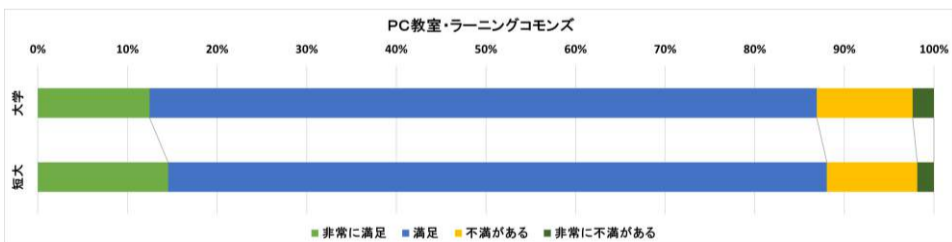
【2】食堂・売店



【3】図書館

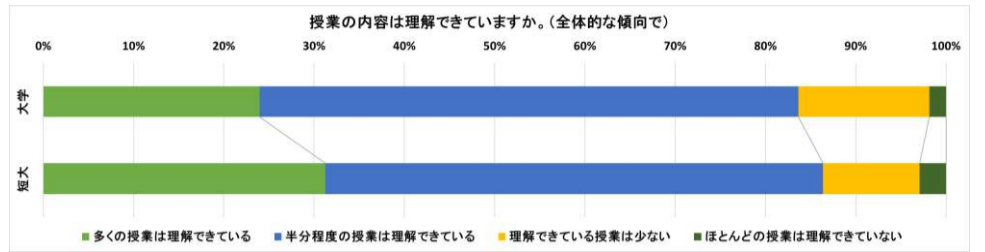


【4】PC教室・ラーニングcommons



8. 授業の内容を理解できているか。

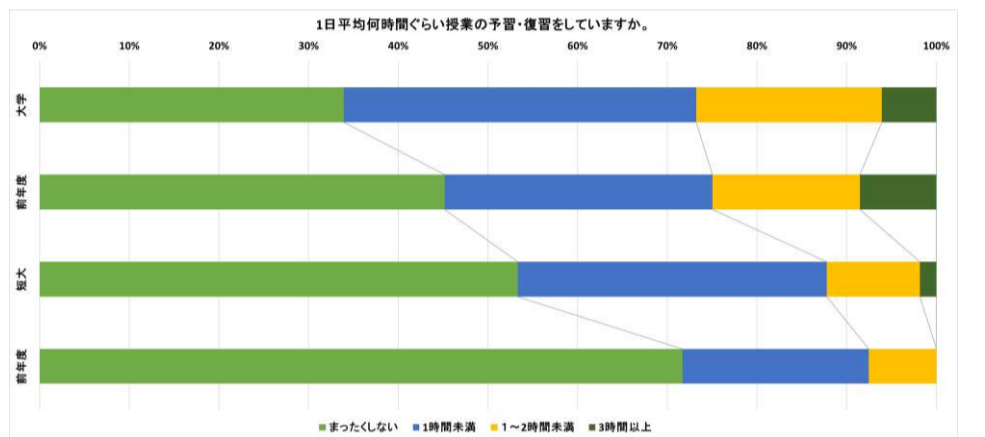
「多くの授業は理解できている」と回答している学生の割合は、約2～3割となっている。1～2割の学生が、「理解できている授業は少ない」、「ほとんどの授業は理解できていない」と回答している。



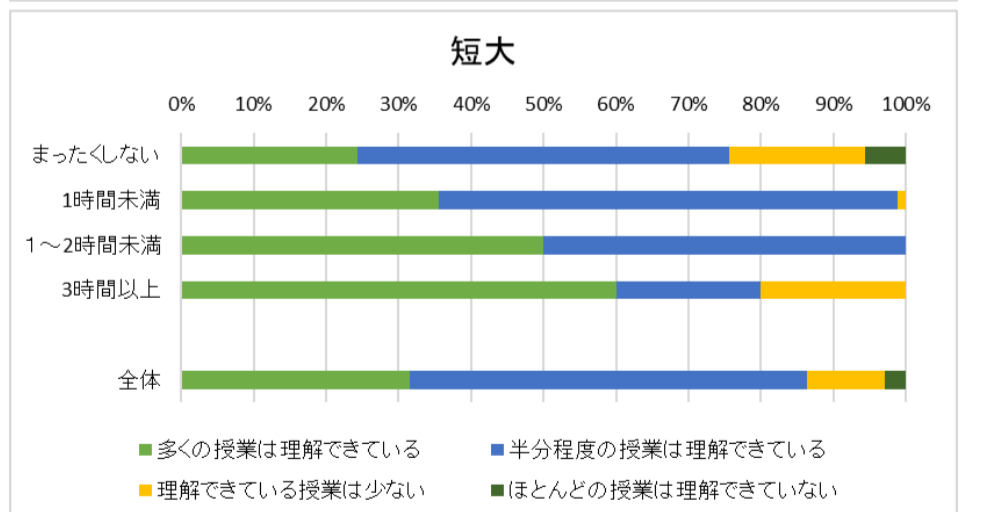
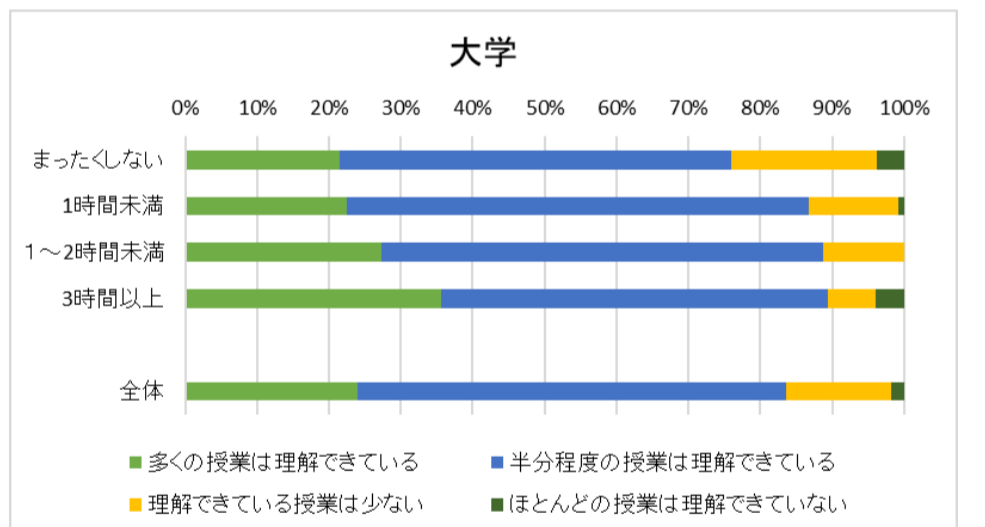
9. 1日あたりの予習・復習時間

「多くの授業は理解できている」と回答している学生の割合は、約2～3割となっている。1～2割の学生が、「理解できている授業は少ない」、「ほとんどの授業は理解できていない」と回答している。

また、「予習・復習時間」と「授業の理解度」は、予習・復習時間が長いほど、「多くの授業は理解できている」との回答割合が高くなる傾向にある。

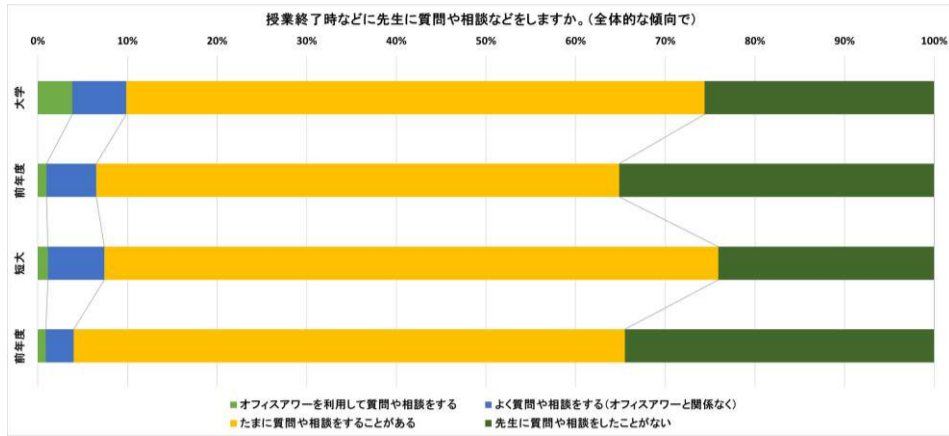


※「予習・復習時間」×「授業の理解度」



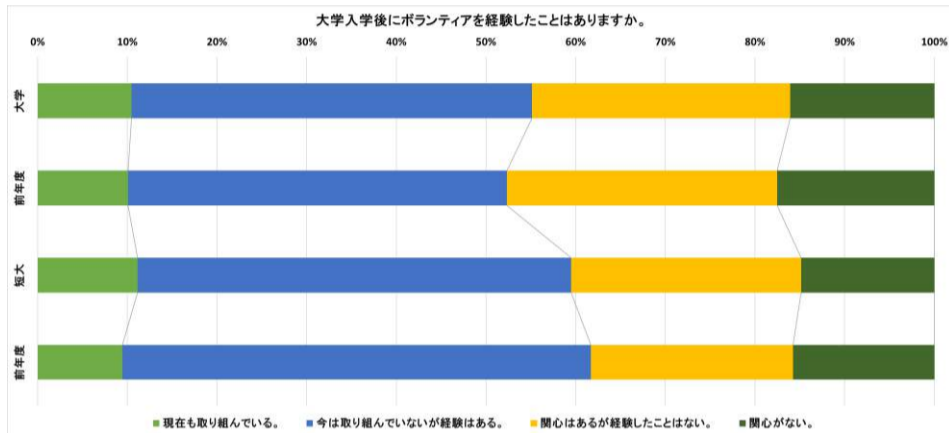
13. 教員へ「質問・相談」をするか

約7～8割の学生が何らかの形で、教員へ「質問・相談」をすると回答している。「先生に質問や相談をしたことがない」と回答した学生の割合は、約2～3割で、前年度よりも減少している。

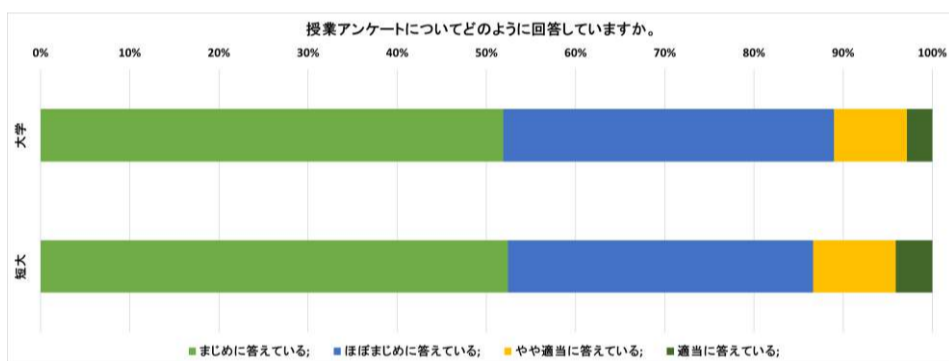


14. ボランティア活動の経験

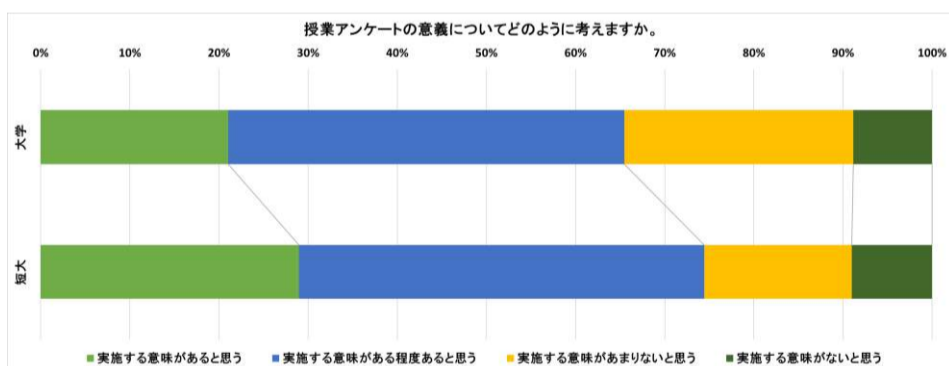
約5～6割の学生がボランティア活動の経験があると回答している。



15. 授業アンケートについてどのように回答しているか



16. 授業アンケートの意義についてどのように考えるか



17. 所属している学科への不満

